

山縣医院だより

YAMAGATA CLINIC 2013 春号 No. 23



平成25年3月 向島小学校 寒桜

MENU

- ♪ ～ 医学・医療の歴史から考える今後の医療 ～ 山縣 茂樹
- ♪ 我が家の自慢の家族たち みちよる、しっちよる?
- ♪ 山縣医院 通所 NEW 徒然日記 (3)
- ♪ 山縣医院 ～ お知らせ ～
- ♪ 山縣医院 ～ 診療のご案内 ～



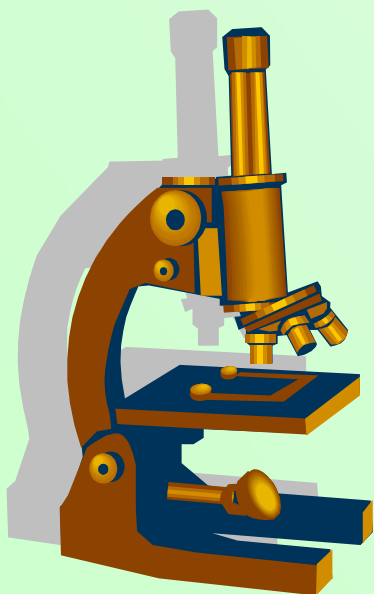
整形外科は骨と関節の専門医です

医学・医療の歴史から考える今後の医療

近年の医学の進歩はめざましいものがあります。この日本における100~200年の医学の進歩は乳幼児の死亡を減らし、また中高年の病をコントロールし、平均寿命も格段に伸びてきました。結果、明治維新のころ3000万人だった人口も現在約4倍の1億2千万人に増加し、高齢化が大きな社会問題になっています。

また高度先端医療は今まで不可能とされた治療を可能にし人々を救済することもできますが、新たな問題を発生させました。移植、脳死、延命治療、人工授精、代理母、人工透析や、出生前診断等々、これからの医療を考えるうえで大変重要な問題をたくさん抱えています。これらは、専門医師を中心に有識者からなるチームで検討されているとても大変な課題です。

患者さんの希望を叶える医療技術の急激な進歩は、社会や人々の心の発達を凌駕していることが現実であり、解決のためにすべての人が深く考えて進めていきたい問題です。一方、今日の日本の抱える問題はすべての国に共通するものではありません。乳幼児期の死亡率がいまだ高く、平均寿命も40歳程度の発展途上国もたくさんあり、彼らとは別次元の問題です。



医の歴史を振り返ってみます。

医療行為は文字を持たない先史時代からあったとされています。体に良い薬草を用いるといった簡単な医療でしたが、健康でいたい、苦しんでいる人を助けたいとの気持ちは人類のDNAに組み込まれているものと思います。文明人に限らず人のいるところには医療は必ず存在するといっても過言ではないでしょう。この時代は、シャーマンといわれる呪術師が迷信や呪術と根拠のある薬草などを併用して医療を行っていたとされています。

紀元前 3000 年の古代エジプト時代には医療施設が設けられ、医師が記録上最初の手術を行ったのが紀元前 2700 年といわれています。ナイル川があったとはいえ、人の生活には不適な砂漠地帯で 3000 年もの間栄華を誇った古代エジプトは、他の地域に比べ医療水準の高さが原動力になっていたのでしょうか。この時代は解剖学と公衆衛生が中心の医療でした。

やがて紀元前 5 世紀頃には、古代エジプト医学とバビロニア医学の影響を受けたヒポクラテスが登場し、古代ギリシャ医学を創りました。「近代医学の父」と称されるヒポクラテスは従来までの呪術や迷信といった超常現象を排除した医療体系を作り上げたのです。

経験や実験に基づいた医学の原点を導き、同時代に発達したソクラテス、プラトンなどで代表される哲学に基づく医療や医学を真っ向から否定したとされます。「それらは患者の苦痛が全く分かっていない」とし医師には倫理観と客観性を求めています。哲学者、経済学者でもあった整形外科や運動器科の父といわれるアリストテレスと一線を画すものです。ヒポクラテスの客観的事実の積み重ねが今日の医学の大きな進歩につながりましたがアリストテレス（天動説を唱えた最初の人といわれていますが）は様々な分野に精通し、宗教観や経済観に基づいた哲学を背景に医療を進めていたように推測します。

医学が高度化しすぎた現在、何のために医学があって、何のために医療を受けるのかを医師のみではなく社会全体でじっくり考え、理解を共有しなければ、医療の明るい未来はないと思います。

医療は、科学と非科学的な療法が混在し発展してきました。先史時代はほとんどが非科学であり、その後科学の占める割合が増していき現在に至っています。現在ですら医療は非科学と共存しています。根拠のないものといわれている病気の治療法の中には、その後根拠が見いだされたものもあります。確立された医学だけでなく、ものの価値観、倫理・道徳観などももっと大切にして、医学と上手に融合させることが、現在および未来の医療を明るくする最良の進み方でしょう。



山縣医院発 我が家の自慢の家族たち④

「うちのが1番かわいい～」



愛称 山縣 さら さん

豆柴 女の子

生年月日 2010年11月11日

本名 小美優姫号

家族皆の癒やしとなっています

山縣医院 外観 リニューアル



リハビリテーション室より

腰椎の牽引の機械が新しくなりました。

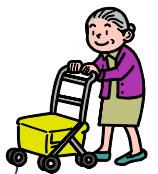


みちよる しちよる 山口弁 ちよる ちよく ちやる ちゃげる？

最近ではあまり聞かれなくなりましたが、伝統的な山口弁についてお話したいと思います。身体そのもの及びその状態や体格などを山口弁では「ごたえー」といいます。標準語で用いる「五体満足」の「五体」ですが、用法は違います。健康がすぐれない時には「ごたえーの調子がわりー(悪い)」と言います。体格の良い人をほめて「えーごたえーしとる(良い体格をしている)」などと言ったりもします。

姿勢が悪く猫背になることは「こんごーをかるー」あるいは「こーごーをかるー」などと言います。「あんたーこんごーかるーちよる。もちーとのって歩きさん(あなたは姿勢が悪いですよ、もう少し背筋を伸ばして歩きなさい)」など、あたりまえのように使われていた方言も次第に聞かれなくなっています、昔ながらの方言も大切にしたいものですね。

- 【～ちよる】 (～しておく)
例「今、晴れちよるよ」 (「今、晴れていますよ」)
- 【～ちよく】 (～しておく)
例「めしを食べちよこうや」 (「ごはんを食べておきましょう」)
- 【～ちやる】 (～してやる ～してある)
例「ジュースが冷やしちやる」 (「ジュースが冷やしてあります」)
- 【～ちゃげる】 (～てあげる)
例「勉強を見ちゃげよー」 (「勉強を見てあげてください」)



参考 山口弁よもやま話

通所 NEW 徒然日記 (3)

通所リハビリ・通所介護 南風 作品展



今年も作品展を開催致しました。作品づくりは、毎年9月から年末にかけてひとつのものを作り上げる山縣医院恒例の一大イベントです。

今年のテーマは「彩り」です。より使いやすく、自分好みにアレンジされた作品になっています。新しいものを創りだすことの喜びを感じられる作品になってい

ます。

和紙の風合いを生かしたちぎり絵、立体感のある押し絵、凝ったデザインに仕上がった実用的なエコクラフト(カゴ、ペン立て、コースター)、ビーズを使ったマスコット、折り紙ブロックを使った絵、広告紙のリサイクルで作られたアンデルセン、彫刻刀を使った手彫りの仏像、牛乳パックを使ったカゴ、編み物や縫い物では一針・一目つつ丁寧に作られた手提げバッグ、マフラーやアームカバー、針山等、手作りの暖かみを感じさせるものです。

～ 書初め ～

新年を迎え書初めを行ないました、利用者の方が絵筆を使用し、ご自分の好きな字、新年(干支)らしい字、お孫さんの名前などから選ばれた言葉をその言葉に合わせた色で作られて書かれました。



いろいろな言葉や色が個性豊かな表情を見せています。

～ ちょうちん作り ～

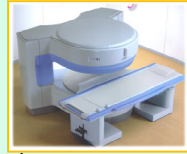
今年もちょうちん作りが始まりました

利用者の皆さんが一枚一枚細く切った紙を貼り、ちょうちんの形を作ります。今年はどんなデザインが登場するのか今から楽しみです。手先を使うことで、リハビリの一つとしても取り組まれています。



エム アール アイ

MRI って何？



レントゲンは主に骨の状態を調べますが、
MRIは 骨や組織の状態まで調べることが可能です。
当院では、オープン型を設置しています。
診察時、ご相談下さい。

MRI 画像見本(背骨)



ホームページアドレス

(ヤマガタ ハイフン イイン ドット コム)

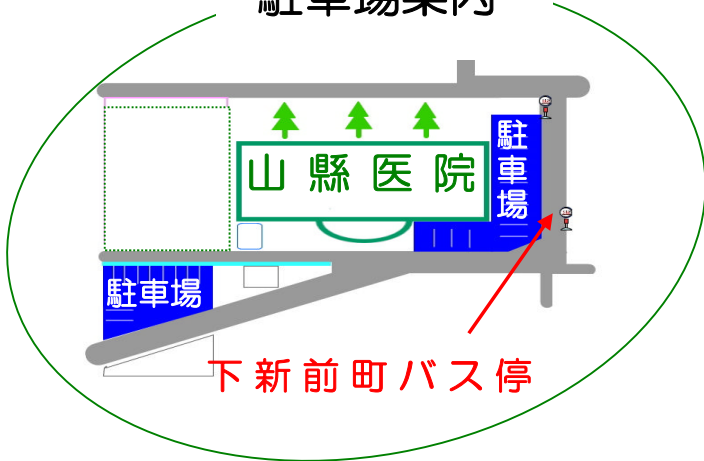


http://www.yamagata-iin.com

山縣医院 ホームページ 随時 更新中 !

診療のお知らせ、(インフルエンザ、健康診断など) 「ぶんぶん歩こう会」の
情報や病院内行事をブログに掲載しています。どうぞご覧下さい。

駐車場案内



アクセス



診療	月	火	水	木	金	土
午前 午前9時00分 ~ 12時30分	○	○	○	○	○	○
午後 午後2時30分 ~ 6時30分	○	○	○	休	○	※ 2時00分 ~ 4時30分

休診 日曜、祝祭日、木曜日午後

※ 土曜日午後は 2時00分 ~ 4時30分

医療法人 社団 南風会



山縣医院

〒747-0834 防府市田島1092
TEL 0835-22-0246

整形外科 神経内科

リハビリテーション科

通所リハビリテーション (デイケア)

通所介護 南風 (デイサービス)

MRI 設置

山縣医院 ホームページ アドレス <http://www.yamagata-iin.com>